

- ◆ 開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆ 休館日 火曜日・水曜日(祝日は開館)
年末年始
展示替え期間
- ◆ 入館料 一般…………… 1,300円
大学生・高校生…………… 800円
中学生以下…………… 500円

※学生証をご提示ください。

※中学生以下は保護者(18歳以上)同伴に限り2名様まで無料。

※チケットは美術館チケットカウンターにて販売しております。

ホテルモントレご優待

ご宿泊やレストランなど、ホテルモントレグループを当日ご利用の方は

ご優待価格にてご入館いただけます。

(一般料金より300円引き)

1階チケットカウンターにて、当日のホテルご利用が確認できるもの
(レシート・予約確認票・ルームキーなど)をご提示ください。



- ・JR環状線・東西線「京橋」駅 西口・南口改札より徒歩5分
- ・京阪本線「京橋」駅 片町口改札より徒歩5分
- ・大阪メトロ長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅
4番出口より徒歩5分



山王美術館

SANNO ART MUSEUM

〒540-0001 大阪市中央区城見2-2-27

TEL:06-6942-1117 FAX:06-6942-8700

<https://www.hotelmonterey.co.jp/sannomuseum/>

SANNO ART MUSEUM GUIDE

山王美術館のご案内



山王美術館

SANNO ART MUSEUM

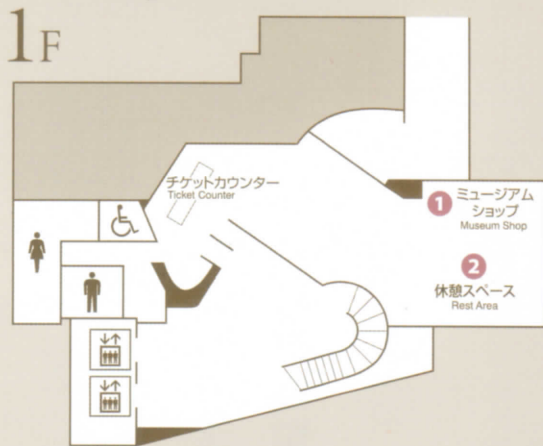
満ち足りたひと時を
心ゆくまで美に向き合う



山王美術館は、ホテルモンテレ株式会社の創立者が五十数年にわたり収集したコレクションを公開・展示する美術館として、2009年8月27日に開館しました。開館から十余年を経て大阪ビジネスパークへと移転し、新たに2022年9月2日にオープンいたしました。新美術館は地上5階建て。3フロアにわたる展示室を備えた独立館となり、より多くの美術作品を、より多くの皆さまに、心ゆくまでご堪能いただける環境と空間へと生まれ変わりました。

600点におよぶコレクション群は、近代の西洋絵画・日本洋画・日本画・陶磁器・彫刻と多岐にわたり、そのいずれもが「ここでしか会うことのできない芸術作品」です。私たちが今日鑑賞することのできる数々の芸術作品は、幾多の歴史を経ながらも、芸術を愛する人々により守られ、次の時代へと託される、この積み重ねのなかで現在へと受け継がれてきました。山王美術館は、こうした先人の思いや願いを継承し、芸術作品を未来へと守り伝えていく役割を果たすとともに、広く皆さまにご鑑賞いただき、美に触れる歓びと感動を分かちあえる場を創出してまいりたいと考えております。

Floor map フロアマップ

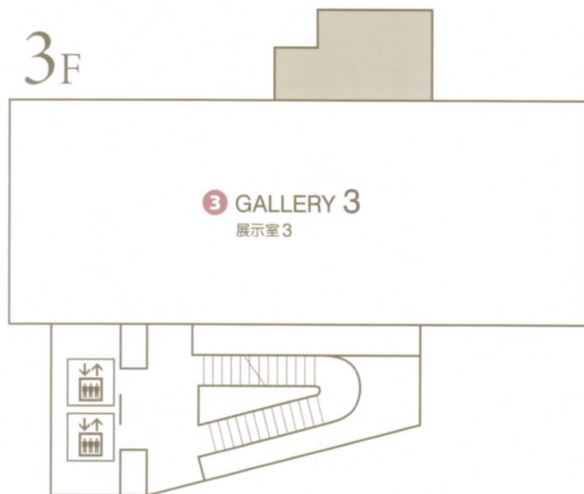


1 ミュージアムショップ

山王美術館1階のミュージアムショップでは、コレクションをモチーフにしたポストカードをはじめとするオリジナルグッズや、所蔵品図録をご用意しております。(ミュージアムショップのみのご利用も可能です)

●OPEN 10:00~17:00 ●定休日 美術館の休館日

3F



3 展示室3

陶磁器や彫刻作品のための展示ケースを設けた約250㎡の展示室。おもに、日本画・日本洋画の作品を常設展示いたします。

4F



4 展示室2

大型作品も展示可能な広やかな壁面をそなえた約250㎡の展示室。おもに、フランス近代絵画の数々をご鑑賞いただける空間となります。

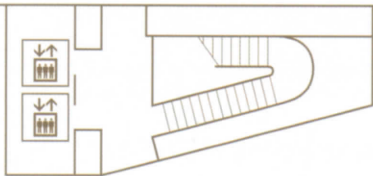


② 休憩スペース

展覧会後の余韻にひたりながら寛ぎの時間をお過ごしいただける休憩スペース。コーヒーや紅茶をセルフサービスでお楽しみいただけます。

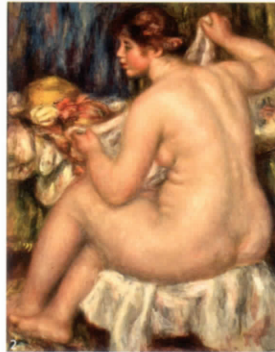
5F

5 GALLERY 1 展示室 1



⑤ 展示室1

透過性の高いガラスを採用した展示ケース二面をそなえた約250㎡の展示室。日本画から西洋絵画まで、コレクションによる企画展を多彩に展開できる空間です。



ここでしか会うことのできない芸術作品

山王美術館の600点におよぶコレクションは、ホテルモントレ株式会社の創立者が五十数年をかけて収集したものです。梅原龍三郎・佐伯祐三・小磯良平・金山平三をはじめ、明治から昭和にかけて活躍した関西ゆかりの画家の作品を中心とする近代の日本洋画にくわえて、日本の近代洋画界に大きな影響をあたえた、コロ・ミレーらバルビゾン派、ルノワール・シスレーなど印象派からキスリング・藤田嗣治が活躍したエコール・ド・パリまでのフランス近代絵画、さらに横山大観・上村松園・板谷波山・平柳田中など、近代の日本画・陶磁器・彫刻と幅広く所蔵しています。春・秋年2回のコレクションによる企画展とあわせて、当館を代表する作品群を常設展示にてご紹介してまいります。

1. 黒田清輝《夏(野遊び)》1892年
2. ビエール＝オーギュスト・ルノワール
《権繪》1918年
3. 上村松園《よふおひ》1949年

4. モイーズ・キスリング《ミモザとバンジー》1937年
5. アルフレッド・シスレー
《サン・マメスのマロニエの木》1880年
6. ビエール＝オーギュスト・ルノワール
《果物をもった懐たむる権繪》1888年頃